

研究の全体構想

【学校教育目標】 かしこい子 心豊かな子 すこやかな子

【重点】 自己肯定感

かしこい子・・・「わかる・できる授業」の創造

研究主題 「学びをつなぐ児童の育成」

これまでの学び（既習内容や生活経験）とこれからの学び（新たな課題）、自分と他者との学び、縦断的・教科横断的な学びを結びつけ、自分の学びを深めたり自分の世界を広げたりする児童の育成を目指す

副題 「子どもを主語にした授業づくりを通して」

子どもが学習の必然性を感じ、自ら学びをつなぐことができるようにするために、『「学習者」（子ども）の学びの視点』に立った授業改善に取り組む

「学習者（子ども）」の学び

- ①既習事項を活用する
- ②学びに興味や関心をもつ
- ③単元（学習）のゴールに向かい、見通しをもって学習に取り組む

視点1 単元構成の工夫

〈入念な準備〉

- ①単元で身に付けるべき資質・能力の整理
- ②学ぶ必然性や「問い」が生まれる単元構成の工夫

- ①自分の考えを形成する
- ②他者と協働することで、自分の考えを広げ深める
- ③情報を活用しながら、考えたり、判断したり、表現したりする

視点2 課題解決の時間の充実

- ①児童の思考に即した授業展開
- ②他者と協働しての問題解決場面の設定
- ③ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業

- ①単元や1単位時間の学習の進め方を理解し、学びを進める
- ②学習ツールの使い方・効果を理解し、選択する

視点3 「学び方」の獲得

- ①学習の進め方の提示（課題設定・解決の方法や過程・振り返り（学びの変容））
- ②「学びの方法や手段」の選択・決定のサポート（何で学ぶ・誰と学ぶ・どのように学ぶ）

「授業者（教師）」の指導

【研究を支える活動・取組】

全校共通取組

認め合い高め合う学級集団づくり